水田活用の直接支払交付金における5年水張りルールの見直しについて

水田活用の直接支払交付金とは、主食用米以外の対象作物(麦・大豆等)の作付けを行った場合、国から交付される『転作』に関わる交付金です。交付金は全ての農地が対象ではなく、水田機能を持つ水田(=交付対象水田)のみが対象となります。現在、その厳格化を図るため令和4年~8年度までに水稲作付が行われていない、または1カ月の湛水(水張り)管理が行われていない農地は水田とみなされず、令和9年度以降交付対象外となる『5年水張りルール』がありますが、このルールが令和7年度から見直されました。また、この水田活用の直接支払交付金の制度自体も、令和9年度に見直しがされる予定ですので、あわせてお伝えします。

見直し内容



『連作障害回避の取組』を行った場合も、 水稲作付・1カ月水張りと同等とみなされます。

『連作障害回避の取組』とは、令和7年4月1日以降の取組です。

- ●土壌改良剤・有機物(堆肥、もみ殻等を含む)の施用
- ●土壌に係る薬剤の散布
- ●後作緑肥の作付け
- ●病害虫抵抗性品種の作付け
- ●その他町農業振興協議会が連作障害を 回避する取組であると判断する取組

町ホームページに掲載しております『連作障害を回避する取組例』 をご覧ください。

取組内容については、作業日誌や記録写真、資材の購入伝票を後日 町農業振興協議会へ提出していただきます。



交付金の制度自体が見直され、令和9年度以降、

『農地ごとへの支援』ではなく、 『作物ごとの取組への支援』に代わります。

国が示す内容は未定ですが、令和7年度中に示される予定です。 内容によっては、これまでの『交付対象水田』という仕組み自体が廃止 される可能性もあります。

問い合わせ: 遊佐町農業振興協議会(遊佐町産業課農業振興係)(TEL: 0234-72-5882)

【令和7年度、8年度の対応フローチャート】

令和4年度から6年度までの間に

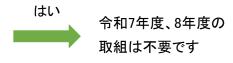
- ・水稲作付(飼料用米等含む) 又は
- •1か月以上の湛水管理を行いましたか?

いいえ



令和7年度又は令和8年度は水稲を作付けます。

いいえ



はい 令和7年度、8年度の 取組は不要です

令和7年度又は令和8年度は次の12のいずれかに取り組む必要があります。 (下記の②については東北農政局のチラシの裏面をご覧ください。)



← どちらか取り組みが必要です→



① 1か月以上の湛水管理

次の書類を再生協議会へ提出してください。

- ① 湛水管理実施予定の届出書
- ② 湛水管理実施の報告書

② 連作障害を回避する取組 (土壌改良剤等の散布等)

次の書類を再生協議会へ提出してください。

- ① 作業日誌(取組実施報告等)
- ② 作業に用いた資材の購入伝票等
- ③ 取組写真(添付様式あり)

令和7年度の取り組み内容の報告は令和8年1月末まで役場農業振興係へ提出してください。

Q & A

令和4~8年度に、水稲作付や1カ月の湛水管理、連作障害回避の取組など、水田活 用の直接支払交付金の『交付対象水田』として維持する取組を何も実施しなかった農 <mark>地</mark>は令和9年度以降どういった扱いになるのか?

また、新制度上で不利が生じるのか?



国が示す内容はまだ未定です。

令和9年度以降は水田・畑に関わらない、作物に対する支援制度へと変わる予定であるため、水張 り等を行わずとも、新制度の交付対象となる予定です。ただし『交付対象水田ではない』ことによっ て、令和9年度以降の支援水準に差がつくどうかは検討中の事項となります。

(令和9年度以降の新制度で交付金の単価が低くなる可能性もあるため、今後農地の賃貸借等を検 討している場合は取り組みを行うことをおすすめします)

問い合わせ:遊佐町農業振興協議会(遊佐町産業課農業振興係)(TEL:0234-72-5882)